

共催：（株）いちよしIR研究所 / （株）いちよし経済研究所

個人投資家向け 会社説明会



シーシーエス株式会社
(ジャスダック 証券コード6669)

2007年12月20日(木)

本日のテーマ

1. シーシーエス株式会社について
2. 事業内容
3. 2008年7月期第1四半期連結決算概況
4. 2008年7月期業績計画
5. 長期的な成長に向けて注力するポイント

企業理念

光を科学し、社会に貢献する

お客様の満足を高めるために
技術と製品をひたむきに追求し、
それを具現化することで社会の役に立ちたい

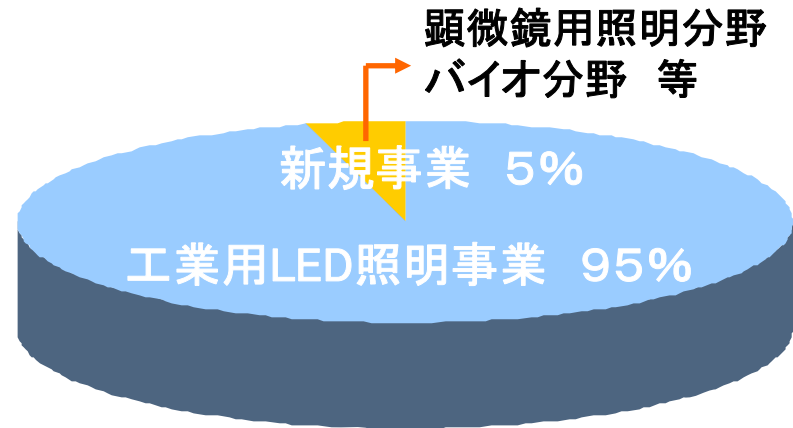
CCS (Creative Customer Satisfaction)

お客様の満足を高めるためにCCSは存在します
—創業当初から「お客様へ愛と感謝」を社是として掲げる—

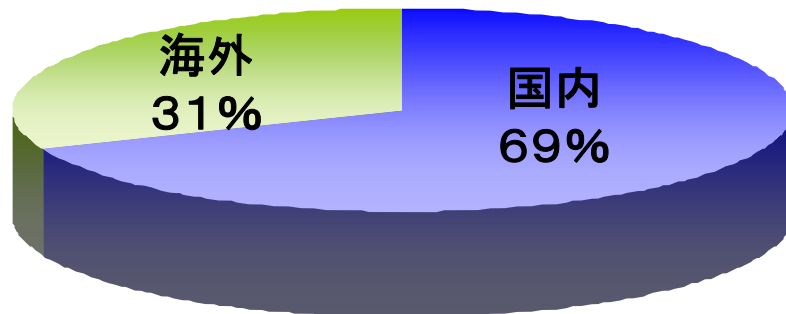
事業領域



事業別/国内・海外売上構成(連結)



2007年7月期
売上高 5,185百万円



(単位:百万円)

	売上高	2006年7月 期比
工業用LED 照明事業	4,967	+5.6%
新規事業	218	+71.7%
合計	5,185	+7.3%

	売上高	2006年7月 期比
国内	3,555	+7.4%
海外	1,630	+7.2%
合計	5,185	+7.3%

外部環境

□ 製造のスピード化 / 品質・安全性重視

- 品質検査などを目視で人の眼で行っていた企業が画像処理を導入するケースが増える

□ 環境志向

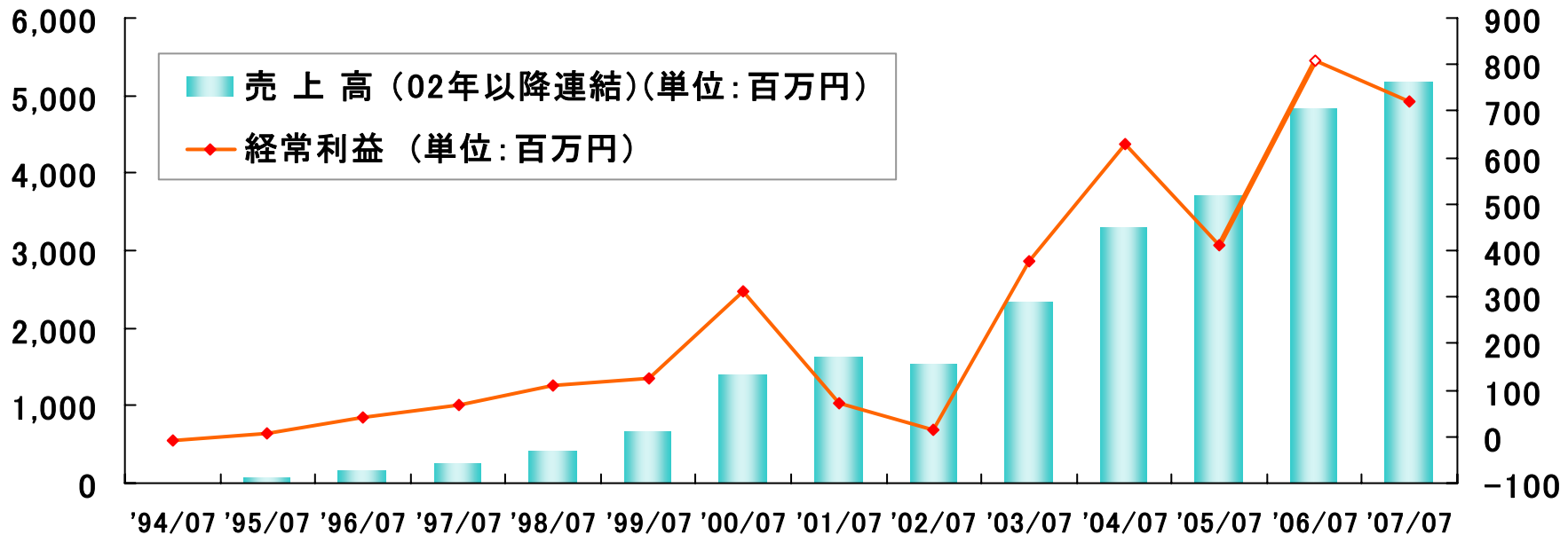
- 環境保全活動に積極的に取り組む企業が、CO₂排出量削減のため、低消費電力のLED照明へ他光源(ハロゲン照明や蛍光灯)から置き換えを行うケースが増える

□ ニーズの多様化

- 製品サイクルが短いので、工場のライン入替えのサイクルが早まる
- 画像処理の用途が拡大する

売上高 / 経常利益率の推移(連結)

	94/07	95/07	96/07	97/07	98/07	99/07	00/07	01/07	02/07	03/07	04/07	05/07	06/07	07/07
売上高	11	64	152	260	423	668	1,404	1,635	1,523	2,342	3,290	3,719	4,830	5,185
経常利益	-8	7	41	69	111	125	311	71	13	376	628	413	808	721

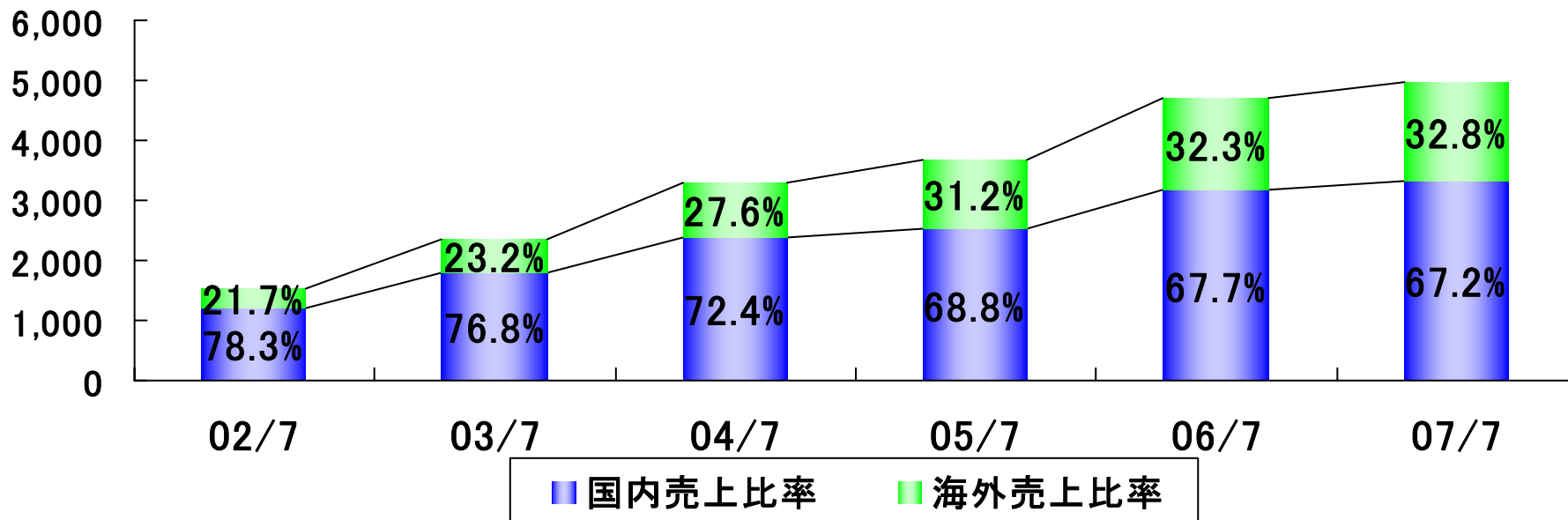


(単位:百万円)

国内/海外売上高の推移(連結)

	02/7	03/7	04/7	05/7	06/7	07/7
国内売上高	1,193	1,799	2,382	2,529 (新規事業除く)	3,182 (新規事業除く)	3,337 (新規事業除く)
海外売上高	330	543	908	1,148	1,521	1,630
合計	1,523	2,342	3,290	3,677	4,703	4,967

(単位:百万円)



海外拠点



国内拠点



生産センター(京都市下京区)
2007年7月開設



本社(京都市上京区)



仙台テストイングルーム
(三井生命仙台本町ビル13F)
2007年11月開設



名古屋テストイングルーム
(ルーセントタワー40F)
2007年6月開設



東京営業所
(高輪台グリーンビル8,9F)



本日のテーマ

1. シーシーエス株式会社について
- 2. 事業内容**
3. 2008年7月期第1四半期連結決算概況
4. 2008年7月期業績計画
5. 長期的な成長に向けて注力するポイント

工業用LED照明事業について

□画像処理用LED照明の開発・製造・販売



電子・半導体業界向け



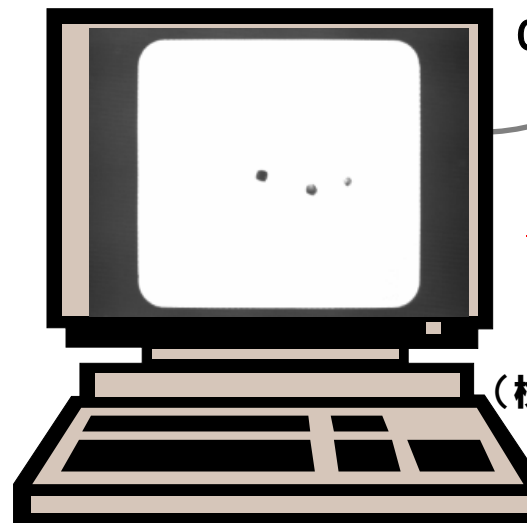
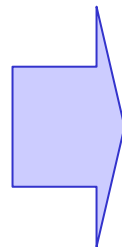
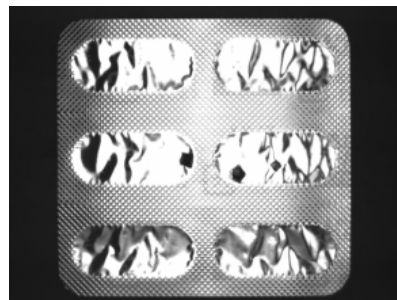
三品（食品・医薬品・化粧品）業界向け



自動車業界向け

電子・半導体業界向けが
売上高の約半分を占める

最近では三品業界向けの割合
が増加している

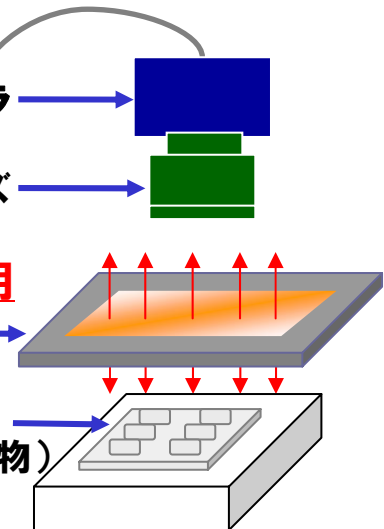


CCDカメラ

レンズ

LED照明

ワーク
(検査対象物)



〔撮像例:薬のプリスタパック〕

市場におけるシェア

□画像処理用LED照明で世界・国内シェアNo.1

- 40,000件の撮像データを活用したライティング提案【ライティング技術】
- 標準品400種類の照明ラインアップ【豊富な製品ラインアップ】
- お客様の個別ニーズに月平均80件対応【カスタム対応力】

シーシーエスの
トータルソリューション

ライティング技術
撮像データ
40,000件

豊富な製品ラインアップ
標準品400種類

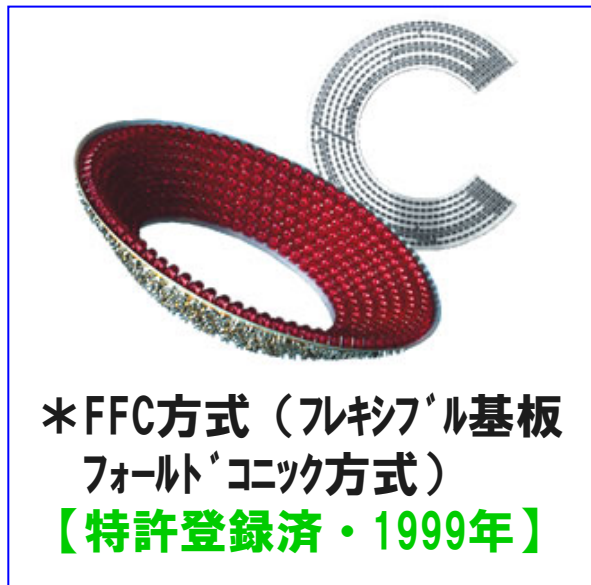
カスタム対応力
月平均80件

主力製品と特許

□リング照明「LDR2シリーズ」

●製造技術

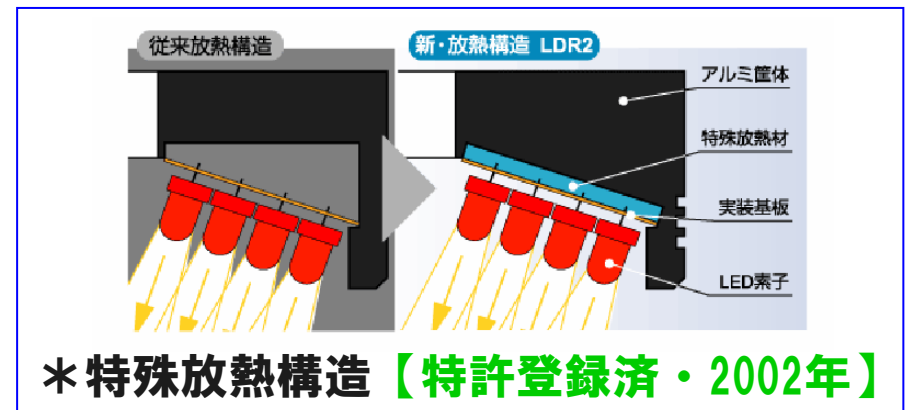
生産の効率化および
品質の向上が実現



〔2002年12月発売〕

●放熱技術

劣化しにくいので
長期間品質を保つことができる

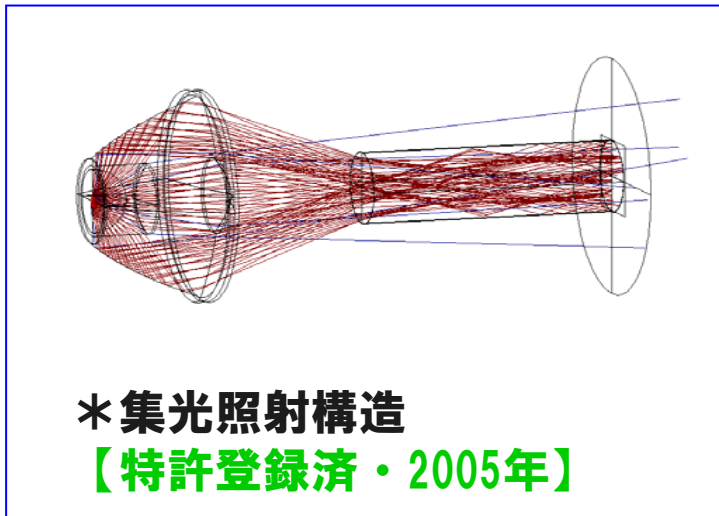


主力製品と特許

□高輝度スポット照明「HLVシリーズ」

●集光技術

LEDの光を集光して
ハロゲン照明以上の明るさを向上



〔2001年12月発売〕

主力製品と特許

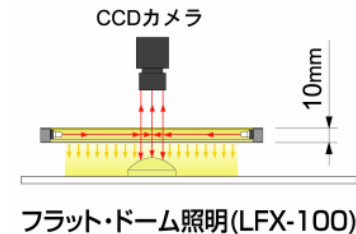
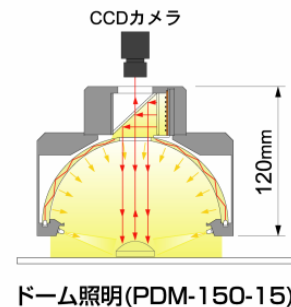
□フラット・ドーム照明「LFXシリーズ」

●照明技術

10mmの薄型設計・軽量コンパクト
で均一無影拡散光照射を実現



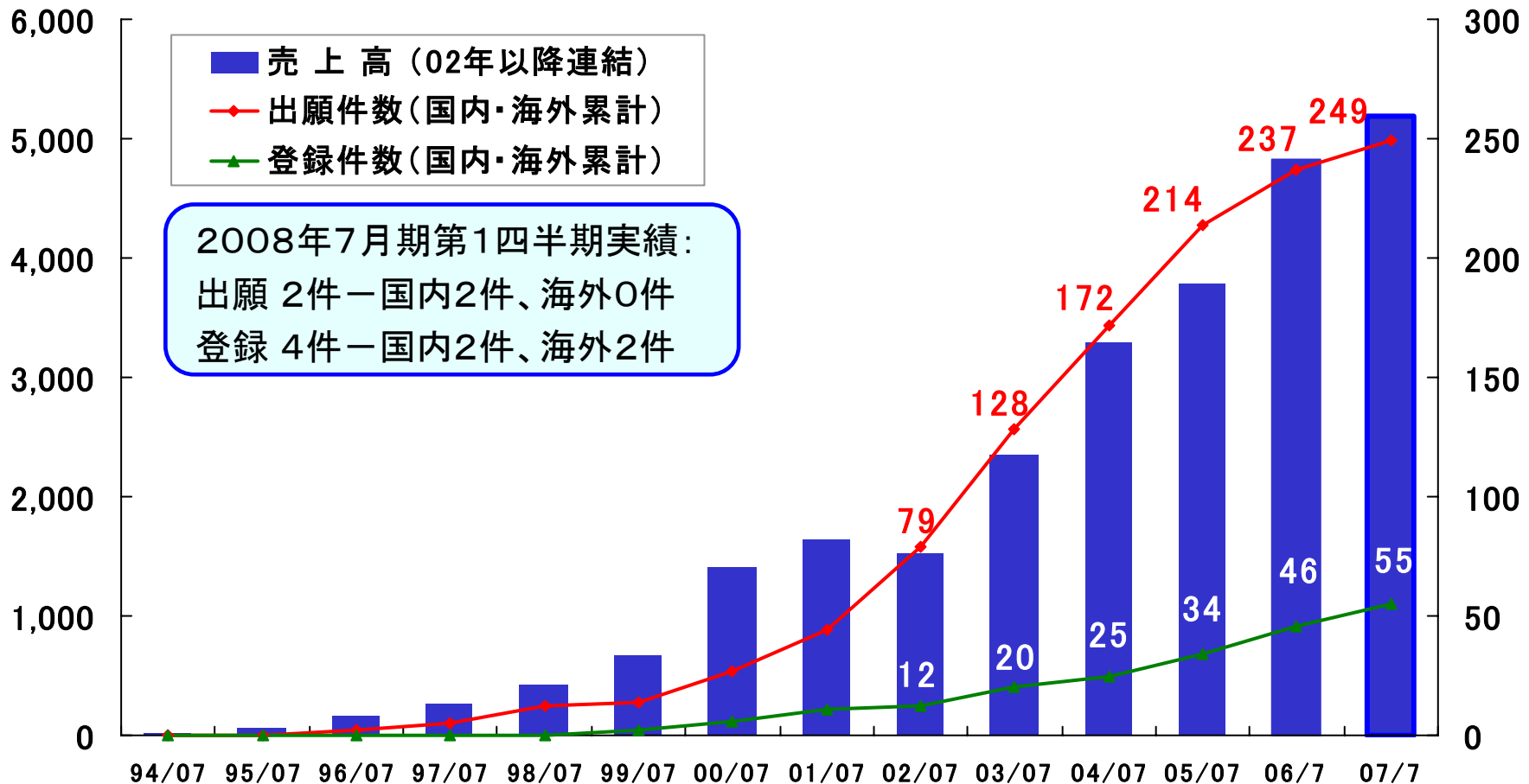
〔2005年9月発売〕



売上高 / 特許の推移

(単位:百万円)

(単位:件)



新規事業

□ 顕微鏡光源用LED照明の開発・製造・販売

- 工場の検査向け
- 研究所向け



□ 植物育成用LED照明の開発・製造・販売

- 官公庁・大学・企業の研究所向け
- 植物工場向け



□ 医療用LED照明応用製品の開発・製造・販売

- 病院向け

研究・開発中

□ 商業用・民生用LED照明の開発・製造・販売

- イベント向け
- 商業施設向け
- 家庭向け



研究・開発中
試作品をロンドンの展覧会
に出展

本日のテーマ

1. シーシーエス株式会社について
2. 事業内容
- 3. 2008年7月期第1四半期連結決算概況**
4. 2008年7月期業績計画
5. 長期的な成長に向けて注力するポイント

2008年7月期第1四半期のポイント

□ 売上高は計画通り推移

- 欧州の売上高が好調(過去最高)
- 新規事業の売上高の減少分をカバー

□ 営業利益は前年同期比減益だが計画通り推移

- 設備投資と人員増を計画通り実施

□ 設備投資は第1四半期で前年同期比4.6倍

- オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立のための設備投資+73百万円
- 新規分野の研究開発のスピードアップのため新研究棟を建設+69百万円(2007年12月末竣工予定)
- その他工業用LED照明事業における研究開発・生産設備などの取得

連結損益計算書の概要

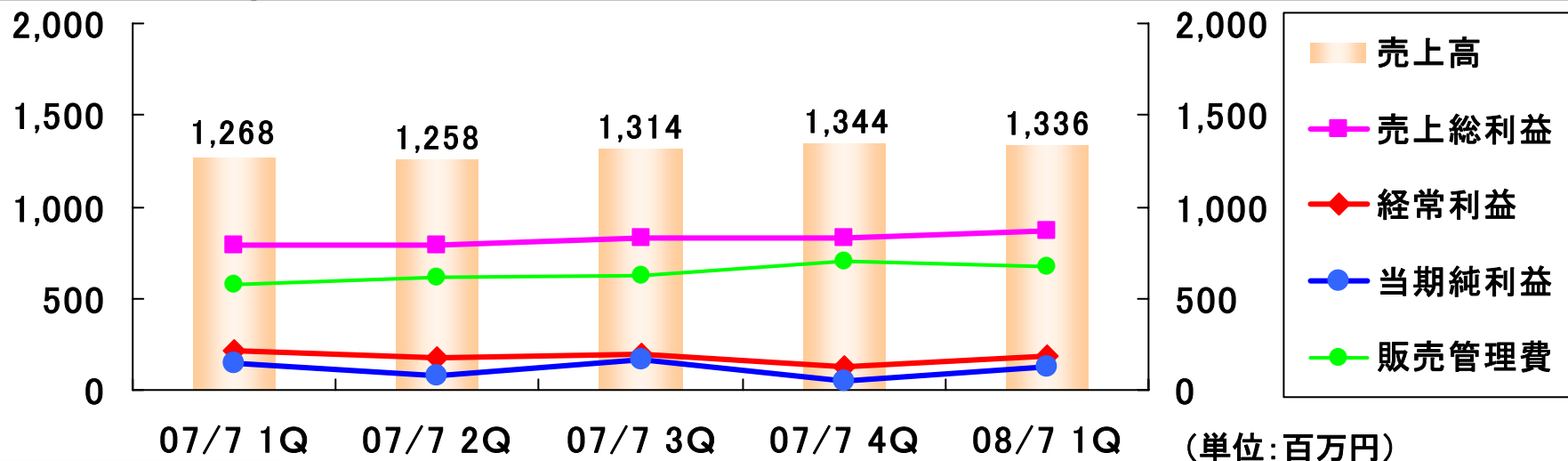
	2007年7月期 第1四半期	2008年7月期 第1四半期	増減
売上高	1,268	1,336	+5.3%
売上原価	480(37.9%)	467(35.0%)	-2.7%
売上総利益	788(62.1%)	868(65.0%)	+10.2%
販売管理費	577(45.5%)	676(50.6%)	+17.2%
営業利益	210(16.6%)	191(14.3%)	-9.1%
経常利益	212(16.8%)	189(14.1%)	-11.1%
当期純利益	142(11.3%)	131(9.8%)	-8.3%

単位:百万円
()内:対売上比

- 売上高は5.3%増(計画通り)
- 売上原価率が2.9ポイント改善(計画通り) / 売上総利益が10.2%増
 - 製造における効率化を推進したことにより、製造費用のコストダウンの効果
- 販売管理費が17.2%増により営業利益は9.1%減(計画通り)
 - オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立のため研究開発費の増加
 - 研究開発の人員強化と組織強化のための即戦力となる人材採用

利益率推移(連結・四半期)

	07/7 1Q	07/7 2Q	07/7 3Q	07/7 4Q	08/7 1Q
売上高	1,268	1,258	1,314	1,344	1,336
売上総利益	788(62.1%)	787(62.6%)	830(63.2%)	827(61.6%)	868(65.0%)
販売管理費	577(45.5%)	618(49.2%)	628(47.8%)	700(52.1%)	676(50.6%)
営業利益	210(16.6%)	169(13.4%)	202(15.4%)	127(9.5%)	191(14.3%)
経常利益	212(16.7%)	179(14.2%)	200(15.2%)	128(9.6%)	189(14.1%)
当期純利益	142(11.2%)	77(6.1%)	163(6.1%)	47(3.5%)	131(9.8%)



(単位:百万円)

2007年12月20日(木)

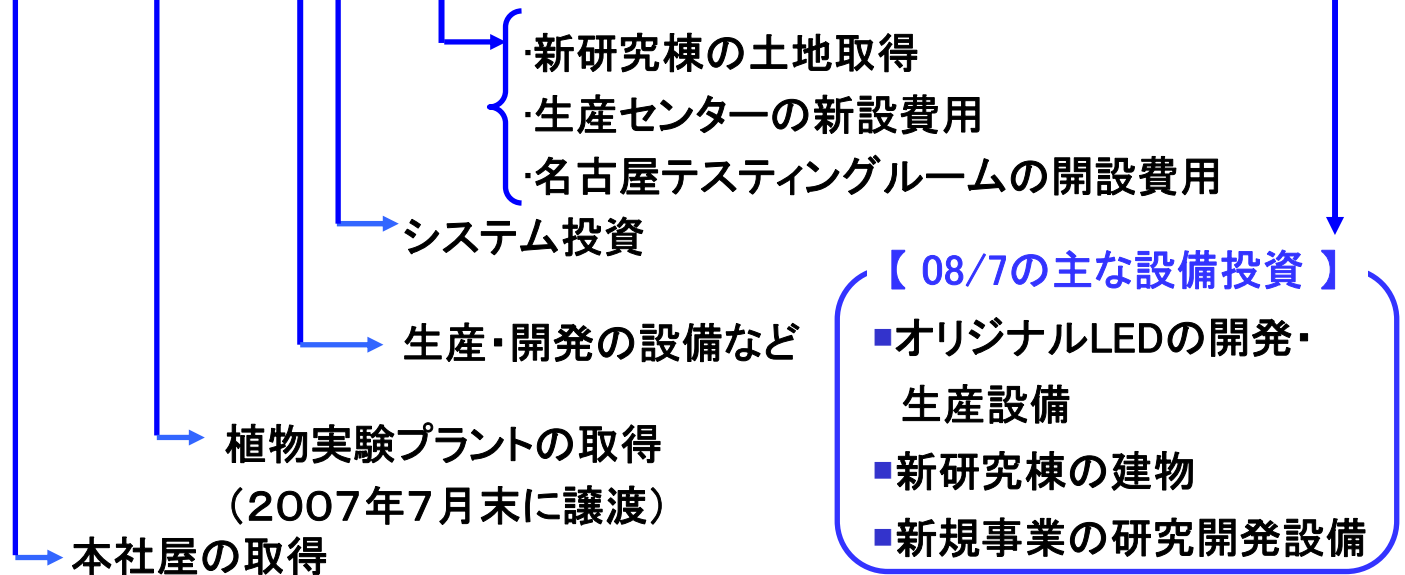
22

設備投資の状況(連結)

	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 通期
設備投資	521	267	146	485
有形固定資産	515	239	87	452
無形固定資産	6	27	59	33
減価償却	44	74	99	106

08年7月期 第1四半期	08年7月期 通期計画
161	605
159	479
2	126
30	114

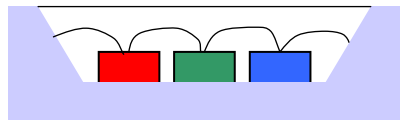
(単位:百万円)



オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立

オリジナルLED 対象パッケージ

SMT
(Surface Mount Type)
LED



新規パッケージ実装
技術の導入

砲弾型LED



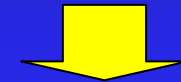
オリジナルLED搭載製品例

- ・ライン照明
- ・光源ボックス
- ・顕微鏡用照明
- ・民生用照明
- ・その他応用



メリット

CCS照明製品に最適なLED
デバイスの開発・設計・製造の
一貫体制の確立



- ✓ LED自身の機能・性能向上
- ✓ 他社との圧倒的な差別化
- ✓ 先行特許出願による業界
No.1の堅持・マーケット創造

立ち上げ時期

2008年7月期中に
試験生産開始

業界最高レベルの演色性を

実現した白色LED「自然光LED」照明 <山口大学との共同研究>

- LEDの発光波長が405ナノ近辺の紫色LEDのベアチップと赤・緑・青の蛍光体材料を使った「近紫外励起蛍光体方式」で演色評価数98という演色性が最も100に近い白色LED「自然光LED」を開発
- この白色LED「自然光LED」を使って目視検査用拡大リング照明を実現



演色評価数75の
蛍光灯の場合



演色評価数98の
目視検査用拡大リング照明の場合



主な研究開発の状況(連結)

	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 通期	08/7 第1四半期	08/7 通期計画
研究開発費	166	323	365	428	103(+21%)	541(+26%)
対売上比率	5.0%	8.7%	7.6%	8.3%	7.7%(+1ポイント)	8.7%(+0.4ポイント)

□ 工業用LED照明事業

()内:前年同期比 単位:百万円

- LED光源ボックス「PFB」—2007年9月に発売開始
- 電源(制御装置)各種—順次発売
- その他新型の照明および新機能の電源—開発中



□ オリジナルLEDの開発・設計および生産

- 山口大学との共同研究で業界最高レベルの演色性を実現した白色LED「自然光LED」照明の第1号—2007年11月に目視検査用拡大リング照明を「白色LEDと固体照明」国際会議に出展
- 白色LED「自然光LED」を使った他の用途の照明—開発中



□ 新規事業

- 顕微鏡用照明/植物育成用照明—カスタム開発を順次実施
- 医療用照明/商業用・民生用照明—開発中

本日のテーマ

1. シーシーエス株式会社について
2. 事業内容
3. 2008年7月期第1四半期連結決算概況
- 4. 2008年7月期業績計画**
5. 長期的な成長に向けて注力するポイント

連結損益計算書(計画)の概要

単位:百万円

()内:対売上比

	2007/7 通期実績	2008/7 通期計画	増減	2008/7 第1四半期実績	2008/7 上期計画
売上高	5,185	6,200	+20%	1,336	2,850
売上総利益	3,234(62.4%)	4,010(64.6%)	+24%	868(65.0%)	1,850(64.9%)
販売管理費	2,524(48.7%)	3,220(51.9%)	+28%	676(50.6%)	1,600(56.1%)
営業利益	710(13.7%)	790(12.7%)	+11%	191(14.3%)	250(8.8%)
経常利益	721(13.9%)	770(12.5%)	+7%	189(14.1%)	240(8.4%)
当期純利益	431(8.3%)	470(7.7%)	+9%	131(9.8%)	145(5.1%)

■売上高は前期比20%増を目指す

- 国内の工業用LED照明事業においては、ハロゲンからの置き換え、三品業界向け、ラインセンサ市場を攻略する
- 海外は、現地でのライティングソリューションの充実を行い販路を拡大する
- 新規分野においては、商品化までのスピードアップを行う

■設備投資および組織強化のための人員増は引き続き実施する

市場のトレンド

- **国内および海外の電子・半導体関連の設備投資は好不調が二極化**
 - ゲーム機、携帯オーディオ、携帯電話関連は設備投資が好調
 - 半導体を使った製品は拡大傾向(車載半導体の搭載数増加など)
 - ➡ 当社においても電子・半導体のデバイスメーカー、製造装置メーカーおよび検査装置メーカー向けは好不調が二極化

- **国内および海外のフラットパネル関連は回復基調**
 - 液晶テレビを中心に投資が再開(新機種の開発が進む)
 - ➡ 当社においてもフラットパネルを扱う部材メーカー、製造装置メーカー、検査装置メーカー向けが回復傾向

- **国内において三品(食品・薬品・化粧品)関連が好調**
 - 新規に画像処理を導入し厳重な品質検査を実施する傾向があり右肩上がり
 - ➡ 当社においては特に三品向けを伸ばすために新製品の投入を進めており、フラット・ドーム照明およびハイパワーライトが好調に推移

2008年7月期の経営計画

- 〔1〕グローバルトータルソリューションの充実により売上高を伸ばす
- 〔2〕工業用LED照明事業における市場攻略をスピードアップ
- 〔3〕オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立
- 〔4〕新規分野の事業化のスピードを上げる
- 〔5〕QCDSの継続的改善により、顧客満足最大化を目指す
- 〔6〕環境にやさしい・人にやさしい照明づくりを追求する
- 〔7〕内部統制制度の導入を完遂する

事業戦略と売上計画

〔1〕グローバルトータルソリューションの充実により 売上高を伸ばす

- 地域特性・市場特性・顧客特性に応じた製品企画・販売
- カスタム対応の充実

〔2〕工業用LED照明事業における市場攻略を スピードアップ

- ハロゲンからの置き換え市場を攻略
- 三品業界向けを拡大
- ラインセンサ用照明市場を攻略

ハロゲンからの置き換え市場を攻略

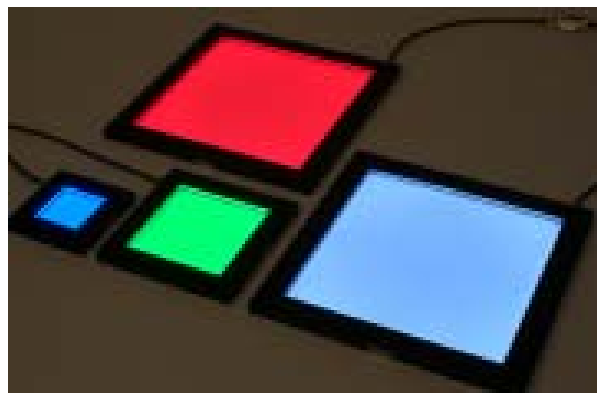
- 100Wハロゲン光源ボックスと同等の明るさを実現
- 消費電力を80%以上削減
- ハロゲン光源の40倍の長寿命



既存のハロゲン光源ボックスの
置き換え攻略

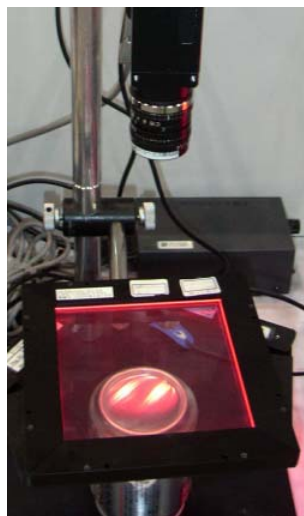
LED光源ボックス「PFB」
100Wハロゲン光源ボックスと
同等の明るさを実現
【特許出願済】
〔2007年9月発売〕

三品業界向けを拡大(食品・医薬品・化粧品)



独自の照射構造【特許出願済】

フラット・ドーム照明
「LFXシリーズ」
〔2005年9月発売〕



〔用途〕

パッケージ、容器、錠剤などの
印字・印刷検査等



独自の照射構造【特許出願済】

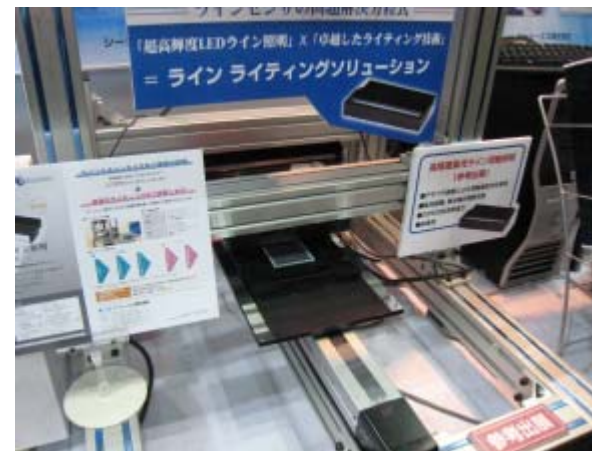
従来品の3～5倍明るい
高輝度均一拡散光LED照明
ハイパワーライト全12機種
〔2007年6月発売〕



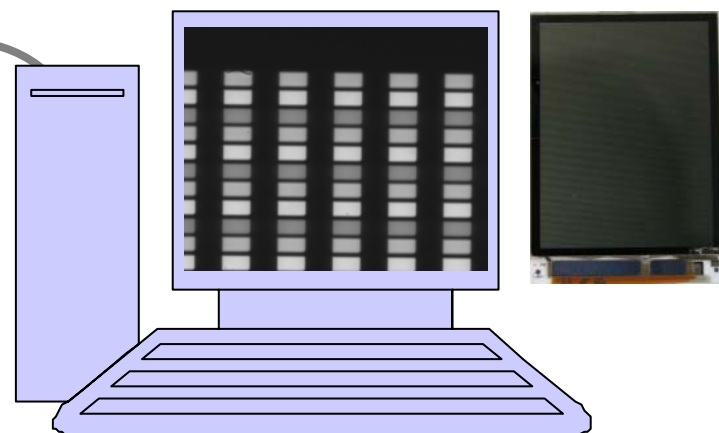
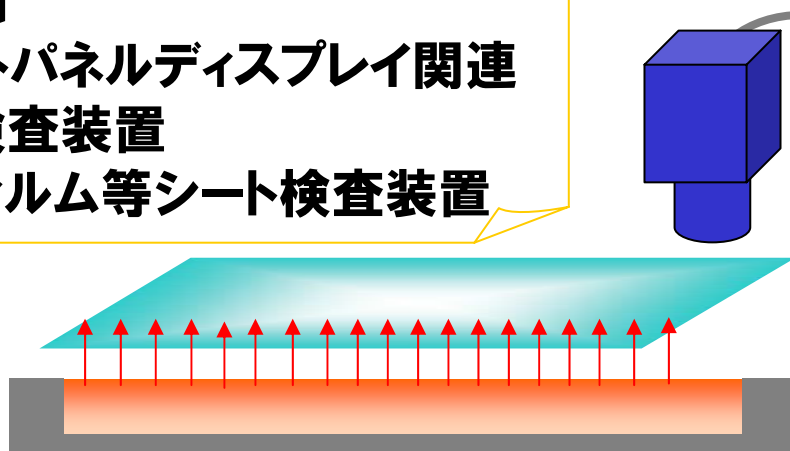
ラインセンサ用照明市場を攻略



ラインセンサカメラ用
LED照明「HLNDシリーズ」
独自の照射構造および放熱構造
【特許出願済】
〔2005年12月発売〕



〔用途〕
フラットパネルディスプレイ関連
基板検査装置
紙・フィルム等シート検査装置



〔撮像例：携帯電話のカラーフィルター〕

本日のテーマ

1. シーシーエス株式会社について
2. 事業内容
3. 2008年7月期第1四半期連結決算概況
4. 2008年7月期業績計画
5. **長期的な成長に向けて注力するポイント**

長期的な注力ポイント

□付加価値の高い製品の開発

- オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立
(オリジナルLEDを搭載して商品化へ)

□新規事業の拡大

- 商業用・民生用照明の商品化
- 医療用照明の実用化



シーシーエスの長期ビジョン

新たな光産業を創出し、光の世界企業を目指す

《注意事項》 本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

シーシーエス株式会社

(ジャスダック、証券コード6669)

<http://www.ccs-inc.co.jp>

管理部広報IR課

TEL(075)415-8291 / FAX(075)415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表取締役社長 米田 賢治
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 4億5,855万円
- 従業員数 単独 211名 / 連結 238名
- 発行済株式総数 20,570株
- 株主数 2,922名
- 連結子会社 3社
- 拠点数 CCS America, Inc. / RDV (S) PTE LTD / CCS Europe NV
国内 5ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 4ヵ所



本社(京都市上京区)

(2007年7月末現在)

沿革

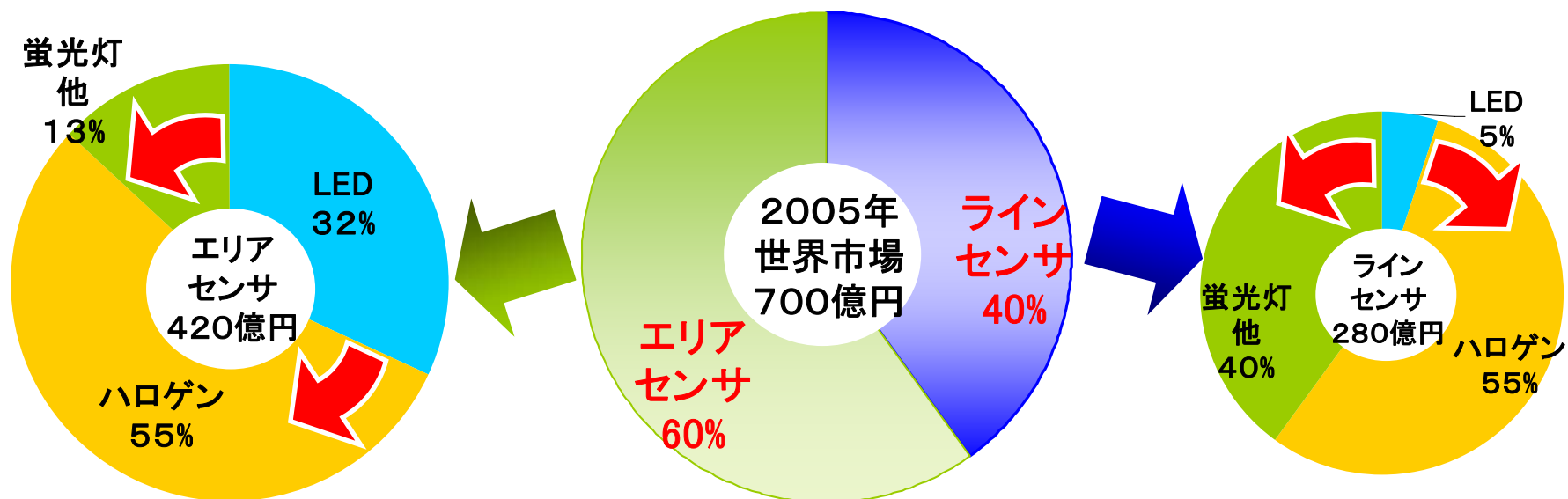
- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 CCSロジスティックセンターを開設(京都市伏見区)
ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 植物育成実験プラントを稼動(千葉県野田市)
名古屋テストングルームを開設(名古屋市西区)
- 2007 東京営業所を拡充(8階増床)
生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
植物育成実験プラントを譲渡
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)

参考資料:LEDの開発の歩み

1960年代	赤色と黄緑色が開発される
1970年代	赤色と黄緑色と黄色が実用化される
1993年	青色が製品化される
1995年	純緑色の開発により、 光の三原色がそろそろ(赤・青・緑色)
1996年	白色が開発される

画像処理用照明の市場規模

画像処理用照明市場の成長率 年5~10%



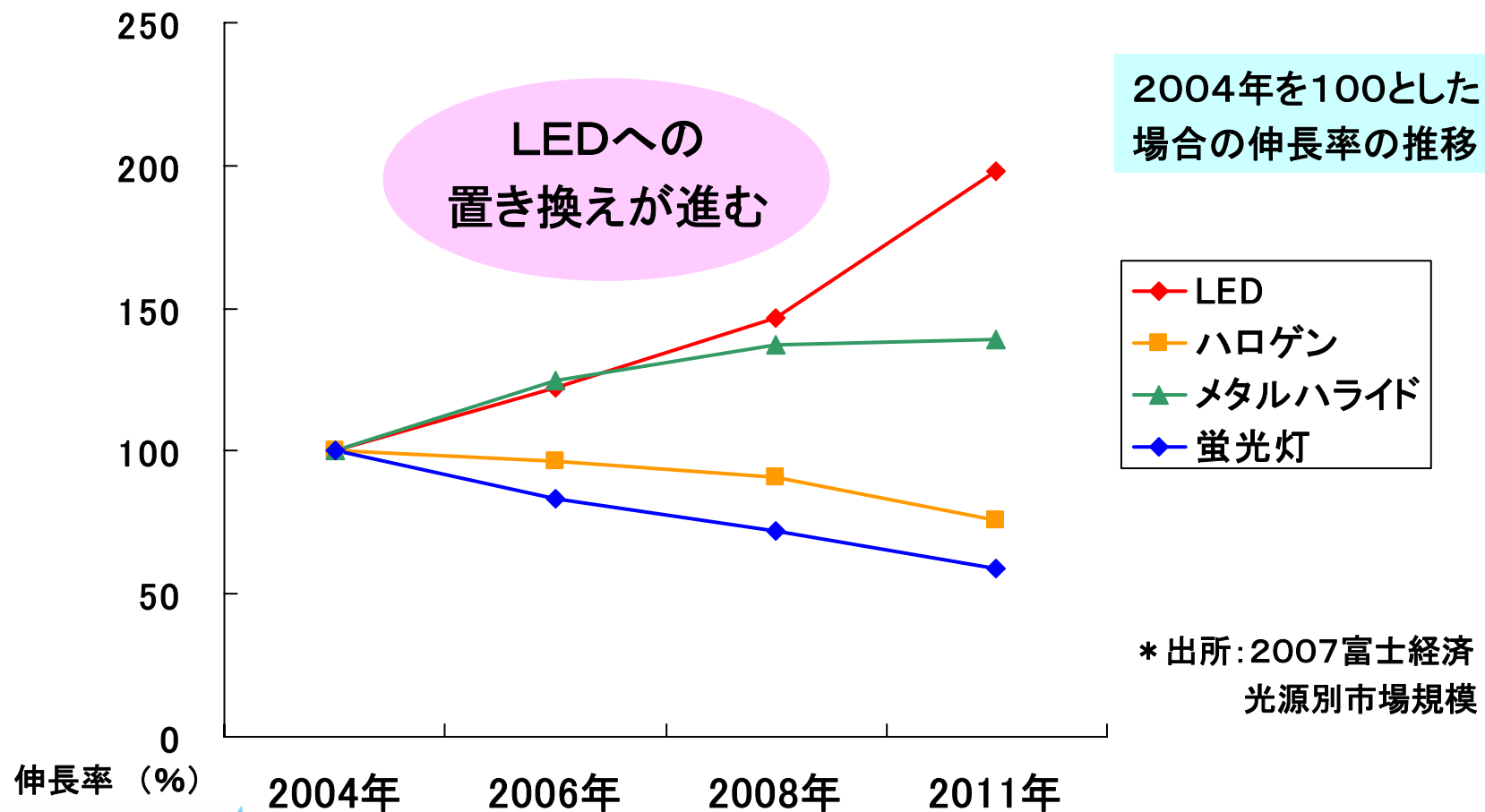
* 当社推計

エリアセンサとラインセンサの違い

	エリアセンサ	ラインセンサ
カメラ	<ul style="list-style-type: none">・エリアカメラを使う。・面で画像をとらえる。 <p>例: デジタルカメラ(2次元で画像が取込まれる)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ラインカメラを使う。・線で画像をとらえる。 <p>例: コピー機 (スキャンの際、線をとらえて、その線の画像の組合せでコピーが可能となる)</p>
照明	<ul style="list-style-type: none">・光をとらえる素子が複数列で並んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・光をとらえる素子が一列に並んでいる。 <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red;"><p>高速で線をとらえるため エリアセンサより明るさが必要</p></div>

LED化による伸び

画像処理用LED照明の成長率 年10%



なぜLEDへの置き換えが進むの？

光源 評価ポイント	 LED	 ハロゲン	 蛍光灯
明るさ	○	◎	○
寿命 ⇒品質の安定性 ⇒効率性	◎ 30,000時間 ハロゲンの10倍以上	× 50～2,000時間	△ 1,500～10,000時間
形の自由度	◎	△	×
応答速度	◎	×	×
環境対応	◎ 有害物質を含まない 消費電力が低い	△ 消費電力が高い	× 水銀を含む